

令和の時代のすみだを創る

さらなる **飛躍** と **夢** 実現に向けた予算

令和2年度予算案



つながる
墨田区

1

安心して産み育てられる環境を整備！

ママも安心！産後ケア事業

予算額(拡充・継続)
86,422千円

問合せ
保健衛生担当部長
本所保健センター所長
伊津野孝 内線3500

1 目的

ゆりかご・すみだ面接で支援が必要とわかった方の受け皿となる産後ケア事業を拡充し、積極的に出産・子育て世帯を支援する。

2 主な事業内容

(1)ゆりかご・すみだ事業(継続)【62,030千円】

専門職による面接・相談を行い、妊娠のお祝いとして、こども商品券1万円を贈呈する。

(2)産後ケア事業(拡充)【24,392千円】

①宿泊型の本格実施(拡充)

母子で病院等の施設に宿泊し、心身の休養、保健指導、育児相談、乳房ケアなどを行う。

②デイケア型(新規)

病院、助産所において、乳房のケアや育児相談などを行う。

③訪問型(継続)

助産師が利用者の自宅を訪問して、デイケア型と同じケアを行う。

	宿泊型	デイケア型	訪問型
利用料	6,600円/日	1,000円/回	1,000円/回
利用上限	3泊4日まで	4回まで	3回まで

※生活保護・区民税非課税世帯は利用料免除

■事業イメージ

ゆりかご・すみだ面接で産後ケアニーズの把握

助産師、保健師が面接・相談を行い、産後ケアニーズを把握
面接を受けた方に、妊娠のお祝いとして、こども商品券1万円を贈呈



支援が必要な場合

産後ケア<宿泊型><デイケア型><訪問型>

■産後ケア<デイケア型>とは？



乳房のケアや育児相談など

2 今年ついに完成！在宅子育て支援の拠点

子育てひろば整備事業

1 目的

在宅の子育て世帯が地域で安心して子育てできるよう、親子の集い・交流の場を提供し、親同士のつながりと子育ての力の育成を支援する。

2 主な事業

在宅子育て支援の中核となっている、両国・文花子育てひろばを、新しい施設に移転し更なる子育て支援に取り組めます。

(1) 新「両国子育てひろば」(移転整備)【80,670千円】

既存施設の隣接地に建設中の両国リバーセンターに移転(令和2年夏頃予定)して事業を開始する。

(2) 新「文花子育てひろば」(移転整備)【266,249千円】

既存施設の隣接地に移転(令和2年12月予定)します。現状のひろば事業と一時預かり事業の実施を予定しています。

予算額(継続)
346,919千円

問合せ

子育て支援総合センター館長
梅原 和恵

電話5630-6351

両国子育てひろば

[場所]横網1-2
(仮称)両国リバーセンター1階・2階
[延床面積] 約940㎡
[完成予定] 令和2年夏

移転先



子どもの健やかな成長をお手伝いします

文花子育てひろば

[場所]文花1-20
[延床面積] 約650㎡
[完成予定] 令和2年12月



3 ~子どもたちの笑顔はすみだの未来~

応援します！

地域の子育て支援グループ

予算額(新規)

2,500千円

問合せ

子育て支援課長

田村 俊彦

内線3441

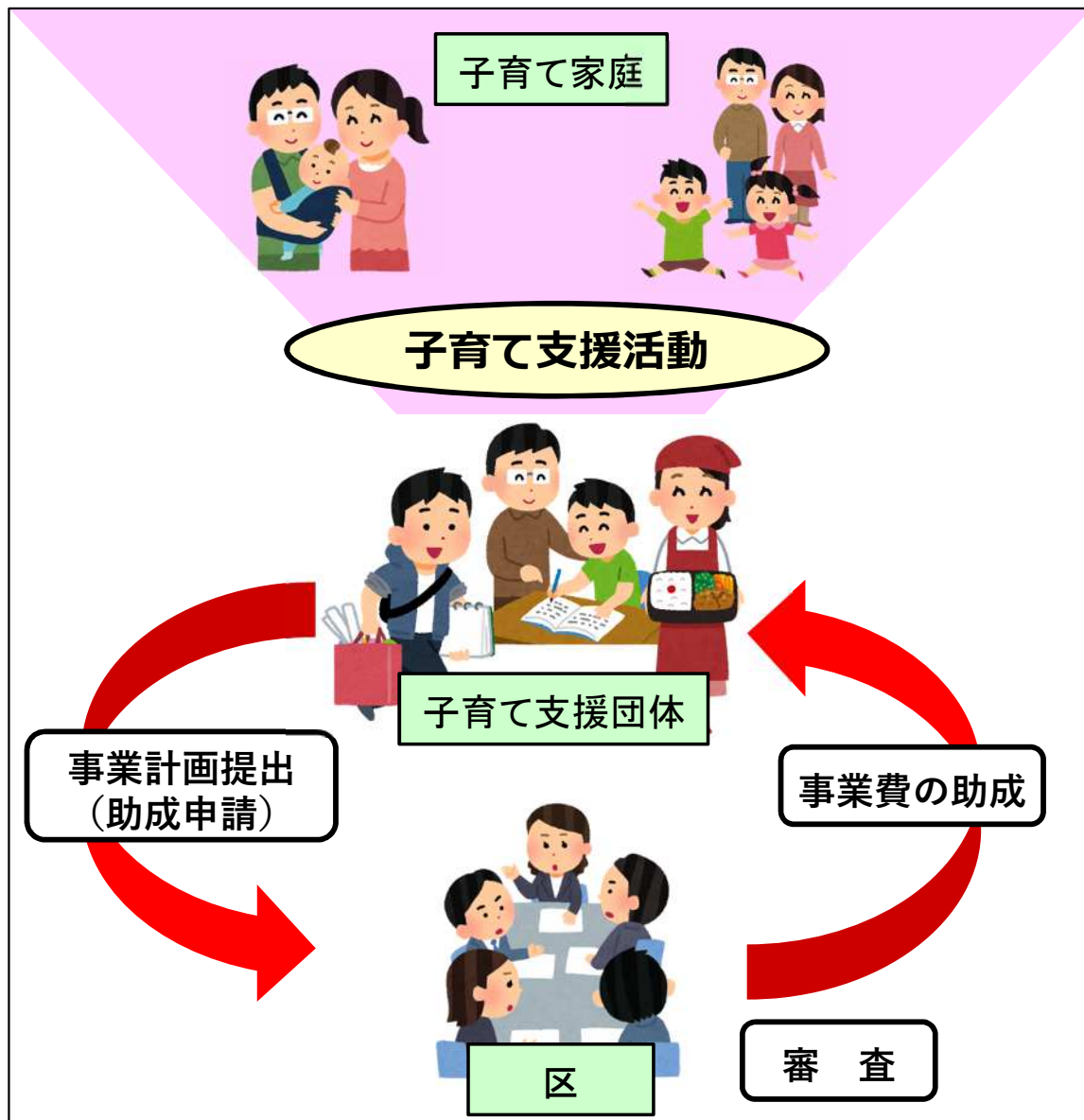
1 目的

区内で子育て支援活動を行っている団体への運営支援を行うことで、地域の力やつながりによる子育て支援活動の活性化を図る。

2 主な事業内容

子育て支援活動活性化事業(新規)【2,500千円】

対象	区内で子育て支援活動を行うNPO等の団体
助成する経費	事業実施に必要な経費 (賃借料・会場使用料、消耗品費、印刷製本費等) ※人件費は除く
助成上限額	一団体当たり50万円まで
助成手続き	団体… 事業実施計画書等を区へ提出 区… 計画書等の内容を審査し、合格した場合に助成実施



子どもたちの更なる学力の向上を目指します！

学力向上「新すみだプラン」の推進

1 目的

墨田区の児童・生徒の更なる学力向上を目指し、「墨田区学力向上新3か年計画(第2次)」を策定し、計画に基づく取組を着実に推進する。

2 主な事業内容

(1) 補習教室の充実

① スクールサポートティーチャー(SST)配置(拡充)【27,339千円】

SSTを活用した放課後等の学習支援を、学力低位層だけではなく、学力中位層にも行っていく。

② すみだチャレンジ教室の実施(見直し継続)【7,453千円】

学力低～中位層の児童・生徒を対象に、学習意欲の向上及び学力の定着を目指した補習教室を実施する。

(2) 学力をさらに伸ばす教材整備(新規)【3,850千円】

学力上位層の児童・生徒の更なる学力向上のために、発展問題を掲載した教材を提供し、活用を図る。

(3) 学力向上に関わる研究の実践(見直し継続)【2,496千円】

学力向上に関する課題研究を行う学校を5校程度指定し、後期にも学習状況調査を追加して実施し、効果を検証する。

(4) 学習意欲向上の取組(見直し継続)【360千円】

これまで東京未来大学と行ってきた共同研究について、学習意欲向上に向けた実践的介入方法の研究を行い、全校展開を図る。

予算額(拡充・継続)

41,498千円

問合せ

教育委員会事務局

すみだ教育研究所長

石原 恵美 内線5231

全ての児童・生徒の学力向上を目指して

基礎・基本の定着

- ・ 年間を通じて、各学校へすみだSSTを配置
- ・ すみだSSTを学力中位層にも活用



学習意欲の向上

- ・ 学習意欲向上のための介入の実践方法について研究を行い、全校へ展開



- ・ 放課後及び夏季休業中に、学力低～中位層の児童・生徒を対象とした「すみだチャレンジ教室」を実施

更なる学力の向上

- ・ 学力上位層の児童・生徒に対して、更なる学力向上を図るための教材を各学校へ提供



学力向上の研究実践

- ・ 学力向上に関する課題研究を実践する「学力向上マネジメント推進校」を5校程度指定
- ・ 後期に追加の学習状況調査を実施して効果を検証



安全安心と言われるまち“すみだ”へ 災害に対する防災行動力の向上

予算額(新規・拡充)
(103,778千円)

問合せ
(1)(2)(3)防災課長
金子 真也 内線3551
(4)安全支援課長
大八木 努 内線3561
(5)情報システム担当課長
山中 淳一 内線3651

1 目的

震災や大規模水害時の減災に向け、情報収集及び情報発信並びに要配慮者支援態勢の強化により、災害に対する防災行動力の向上を図る。

2 主な事業内容

(1)要配慮者個別支援プラン作成(モデル事業)(新規)
【700千円】

要配慮者の災害時の避難計画、避難方法を記載した「個別支援プラン」の作成を促す。

(2)高所防災カメラ(北部地域)の更新【61,552千円】

(3)住民防災組織等への効果的支援の推進【39,000千円】

住民防災組織への防災活動補助金を整理・統合し、手続きの簡素化を図るとともに効果的な活用を促す。

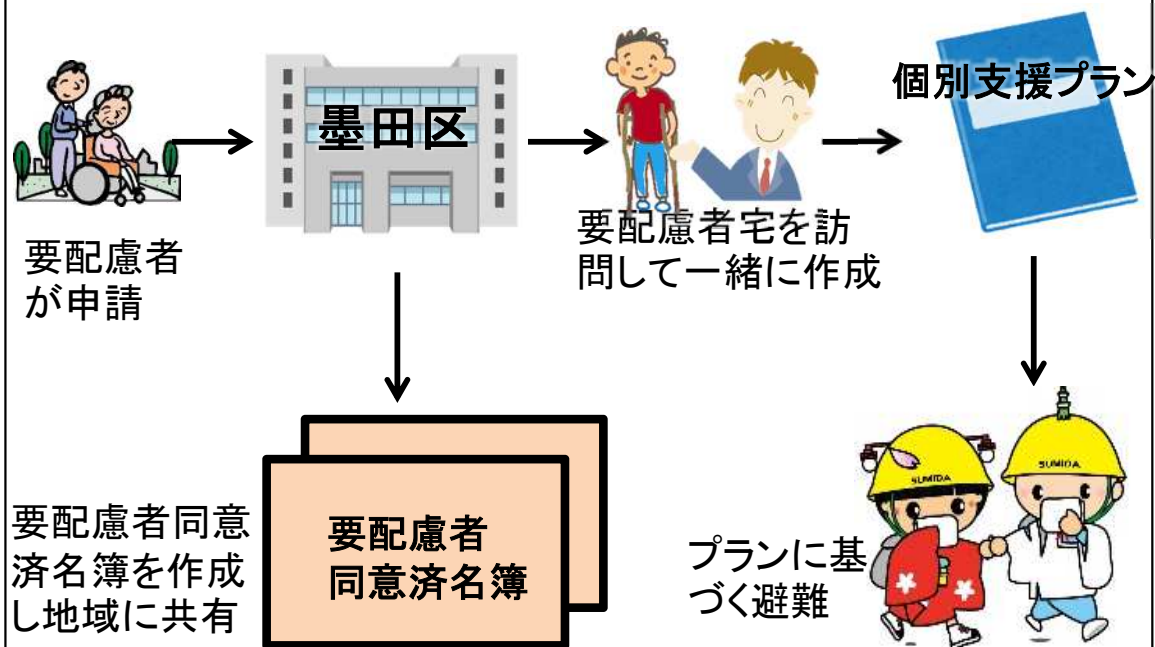
(4)安全・安心メールのリニューアル(拡充)【2,526千円】

配信した情報を、ホームページへの自動掲載や、電話連絡、ツイッター等とのSNS連携を予定している。

(5)地域BWAを活用した通信体制の構築(新規)【0円】

避難所のWi-Fiアクセスポイントの強化、外国人避難者対応用自動翻訳機の設置等を行う。

要配慮者個別支援プラン作成のイメージ



ポイント

- ① 真に支援が必要な人の情報の把握
- ② 要配慮者の情報の地域での共有
- ③ 個別支援プランを作成する体制の確保
- ④ 災害の種類に応じての必要な避難方法の整理

※令和2年度はスキーム検証のため、モデル事業として一部地域を対象として実施予定

6

住み慣れたまちと命を守るために！

木造住宅耐震化促進助成事業

予算額(継続)
106,912千円

問合せ
防災まちづくり課長
小坂橋 一之
内線3971

1 目的

木造住宅の地震に対する安全性の向上を図ることで、災害に強いまちづくりを推進し、地震による木造住宅の倒壊等の被害から区民の生命、身体及び財産を保護する。

2 主な事業内容

(1) 耐震化促進助成事業

① 区内全域

ア: 耐震診断助成【9,300千円】

助成率1/2、上限7万5千円、又は助成率1/1、上限15万円

イ: 計画作成助成【②アを含み5,850千円】

助成率1/2、上限5万円

ウ: 耐震簡易改修工事助成【8,800千円】

助成率1/3～5/6、上限40万円～80万円

エ: 耐震シェルター設置費助成(高齢者等に限る)【500千円】

助成率9/10、上限50万円

② 緊急対応地区内

ア: 計画作成助成(耐震改修の場合)【①イを含み5,850千円】

助成率1/1、上限15万円

イ: 耐震改修工事助成【52,200千円】

助成率1/2～5/6、上限135万円又は150万円

ウ: 除却費助成【20,000千円】

助成率1/2、上限50万円

(2) 普及啓発事業等

無料耐震相談、耐震化普及啓発団体補助、耐震改修促進計画
改定業務委託【10,262千円】

緊急対応地区図

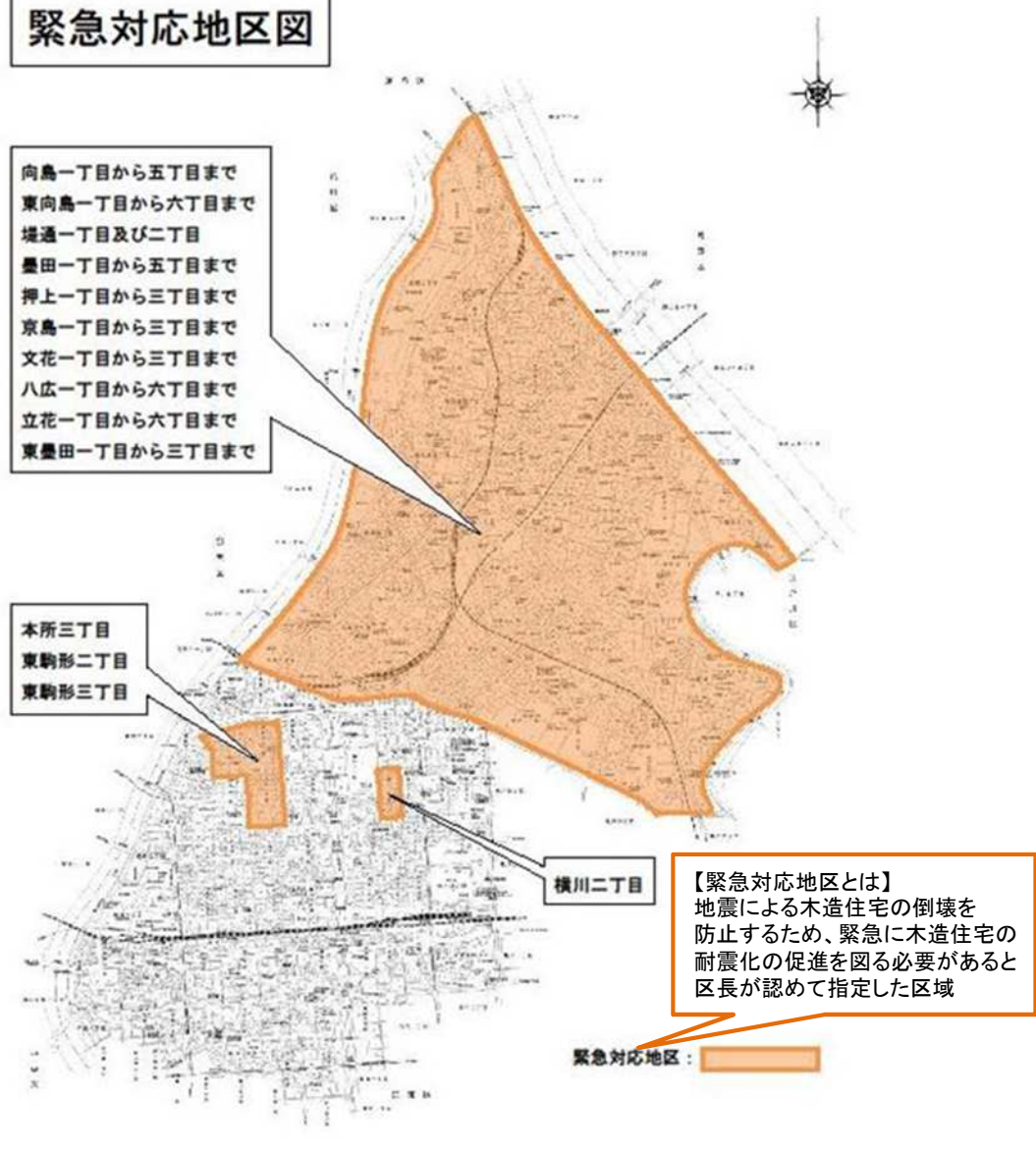
向島一丁目から五丁目まで
東向島一丁目から六丁目まで
堤通一丁目及び二丁目
墨田一丁目から五丁目まで
押上一丁目から三丁目まで
京島一丁目から三丁目まで
文花一丁目から三丁目まで
八広一丁目から六丁目まで
立花一丁目から六丁目まで
東墨田一丁目から三丁目まで

本所三丁目
東駒形二丁目
東駒形三丁目

横川二丁目

【緊急対応地区とは】
地震による木造住宅の倒壊を防止するため、緊急に木造住宅の耐震化の促進を図る必要があると区長が認めて指定した区域

緊急対応地区: 



災害に強い安全なまちづくり

京島・鐘ヶ淵周辺のまちづくり事業

予算額(継続)
701,228千円

問合せ
防災まちづくり課長
小板橋一之

内線3971

1 目的

京島周辺地区と鐘ヶ淵周辺地区では、木造住宅密集地域の不燃建築物への建替促進や避難路の拡幅等の事業を推進している。

また同地区は、東京都が実施する「木密地域不燃化10年プロジェクト」の不燃化特区にも選定され、一層の事業の加速を図っている。

令和2年度は、安全な避難を行うための基盤整備や緑地整備、不燃建築物への建替え、共同化の促進等を推進していく。

2 主な事業内容

(1)京島地区まちづくり事業(住宅市街地総合整備事業)【264,920千円】

京島三丁目側の優先整備路線の完成に続き、京島二丁目側の優先整備路線の整備を推進していく。あわせて地元協議会との連携を図りながら緑地整備を行う。

(2)鐘ヶ淵周辺地区防災都市づくり推進事業【259,101千円】

①鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくり【13,992千円】

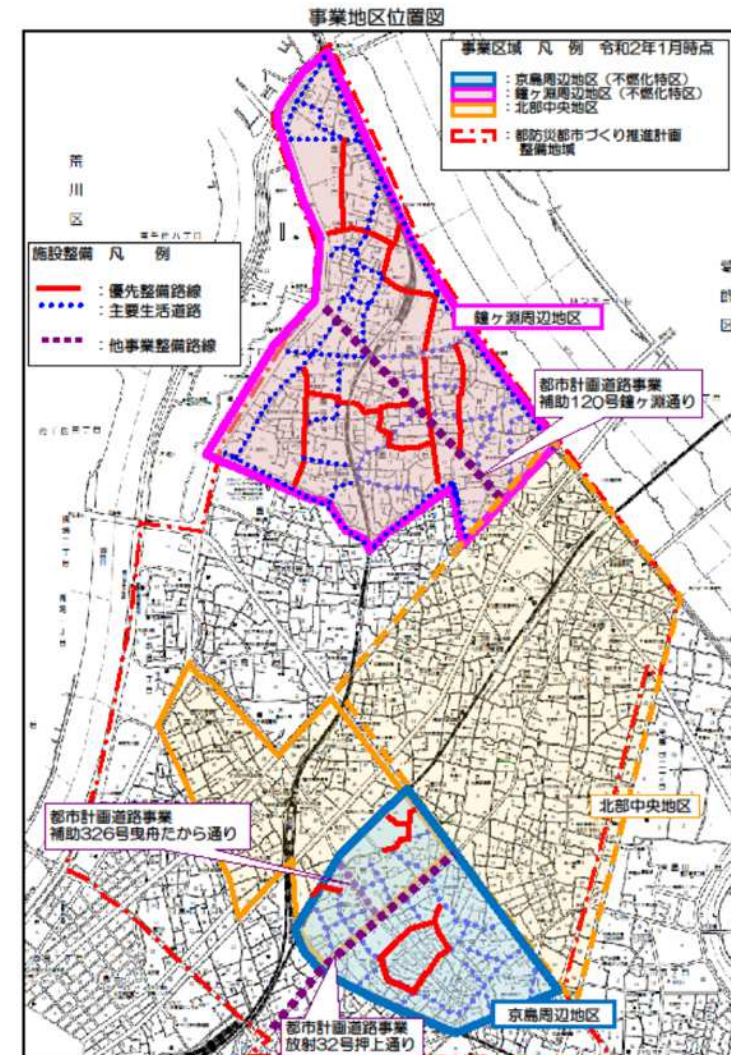
「道路整備と一体的に進める沿道まちづくり」を都と区が連携して行い、鐘ヶ淵駅付近の立体交差化の早期実現に向け、**都が事業候補区間に位置づける**よう働きかけていく。

②鐘ヶ淵周辺地区住宅市街地総合整備事業【245,109千円】

街路事業や他のまちづくり事業と連携して、老朽家屋の解消や道路拡幅等の整備を引き続き実施する。

(3)木密地域不燃化10年プロジェクトの推進【177,207千円】

京島周辺地区と鐘ヶ淵周辺地区内の現地事務所(まちづくりの駅)に常駐する「まちづくりコンシェルジュ」が、具体的な建替えプランの提案や戸別訪問等を行い、建替え意欲の向上に努めると共に、一層の防災意識の醸成と地域の安全性向上を図る。



8 ～踏切除却による渋滞解消・まちの活性化～

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近) 立体化事業

予算額(拡充)
4,190,202千円

問合せ
立体化推進課長
江波戸史恭

内線3991

1 目的

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)を高架化することで、踏切による交通事故の危険性や渋滞を解消し、安全で円滑な交通機能を確保するとともに、南北に分断されているまちの一体化を図る。

2 主な事業内容

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)連続立体交差事業
(拡充)【4,190,202千円】

伊勢崎線第2号踏切(桜橋通り)を中心に、約0.9kmの鉄道を高架化することで、踏切を解消する。

○令和元年度までの実績

- ・ 仮線切替え工事

○令和2年度

- ・ 高架橋築造工事

○令和6年度

- ・ 事業完了予定



工事現場の仮囲いを活用した
「押上保育園ギャラリー」



事業パンフレット
(窓口で配布しています)

Before
高架化前



伊勢崎第2号踏切(桜橋通り)の渋滞

After
高架化後



桜橋通り付近の高架化イメージ

9

～0円予算でSDGsを体現～
リサイクルの推進
 (ハブラシ・ペットボトルキャップ・羽毛)

1 目的

ごみの減量やリサイクルの充実を、既存の社会インフラや経営資源を有効活用することで、新たに必要となる負担(限界費用)を0に抑えて実施し、SDGsの実現を目指す。

2 主な事業内容

(1)ハブラシリサイクル事業(新規)【0千円】

可燃ごみとして収集している「ハブラシ」を資源物として回収し、再生利用(リサイクル)する。

リサイクルは、区内企業である(株)ライオンとの協定(予定)に基づいて実施。

(2)ペットボトルキャップリサイクル事業(新規)【0千円】

可燃ごみとして排出されるペットボトルキャップを、資源物として回収(拠点回収)し、プラスチックごみ削減と循環型社会の形成を目指す。

(3)羽毛のリサイクル事業(新規)【0千円】(歳入あり)

粗大ごみ等として排出される羽毛(布団など)を、「31日(サイクルの日)」に持ち込んでもらい、無料で区がリサイクル(羽毛を売却)する。

予算額(新規)
0千円

問合せ
すみだ清掃事務所長
高橋 淳一
電話5608-6922



SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための17の開発目標のことで、日本も積極的に取り組んでいます。

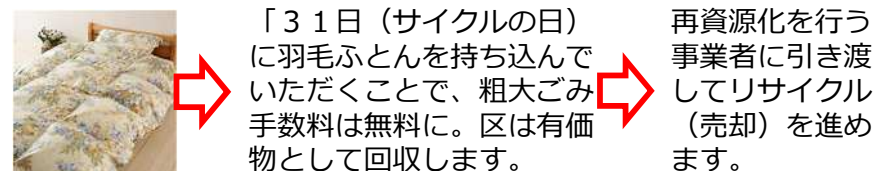
(1) ハブラシリサイクル事業



(2) ペットボトルキャップリサイクル事業



(3) 羽毛のリサイクル事業



スタートアップ企業の夢実現します！ スタートアップ連携促進事業

予算額(継続)
15,000千円

問合せ
経営支援課長
岩本 健一郎
内線5421

1 目的

新たなアイデアを持った人材やスタートアップ企業等の集積を加速させ、区内企業との連携を促進することにより、社会課題解決への貢献と産業活性化が両立する次世代のまちづくりを推進する。

2 主な事業内容

(1) スタートアップ企業誘致のためのプロモーション 【7,000千円】

活力あふれる人材の集積を図ることを目的に、すみだでのスタートアップを考えている人や、まだすみだの魅力を知らない人・企業を対象に、プロモーションを展開する。

WEBサイトやPR動画等を制作し、“スタートアップするならすみだが面白そう！”と興味を持つ入口をつくる。

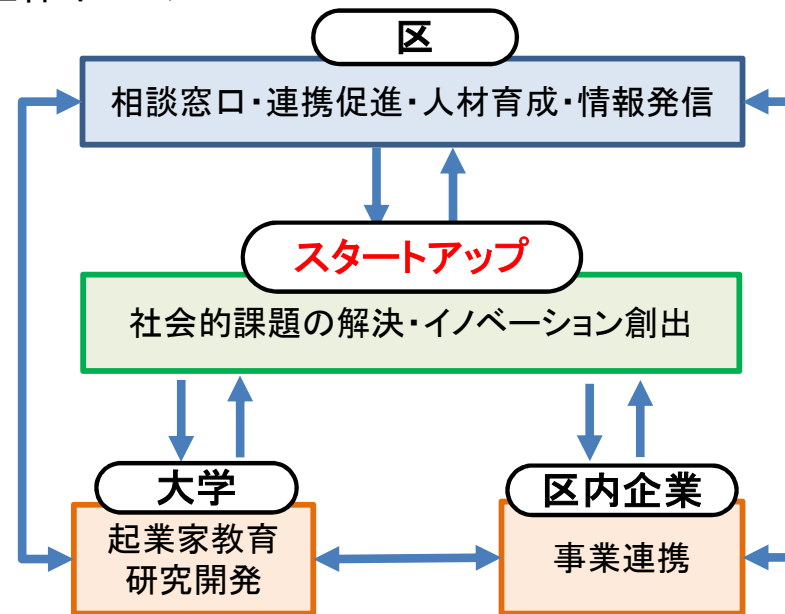
(2) STEAM人材育成事業【8,000千円】

情報経営イノベーション専門職大学(iU)や千葉大学との連携を視野に入れながら、子どもたちの起業家精神醸成に資する事業を実施する。

区内企業をフィールドとした
STEAM人材育成



■事業全体イメージ



■スタートアップ企業誘致のためのプロモーション(イメージ)



東京ミズマチでトライアル！ 新たな産業支援施設オープン！

1 目的

東京ミズマチのオープンを契機に、ものづくりコトづくりを通じて、地域内外の商品や人々と交流し、墨田区の魅力を国内外に発信していくため、令和2年度から3年間限定でその拠点となる新たな産業支援施設を運営し、実証実験を行う。その結果を踏まえ、新たなブランディングの構築につなげていく。

2 主な事業内容

(1) 施設の管理運営等(新規)【20,375千円】

- 令和元年度に実施したコンセプトワークの検討を踏まえ、商品の見せ方などを工夫した店づくりを行う。
- 東京ミズマチC街区(墨田区向島1丁目23番)に施設(2階建・延べ床面積150㎡)を賃貸借し、観光回遊路の立地を生かした新たなターゲット層を呼び込む。

(2) 新たな産業支援の実証実験(新規)【13,000千円】

他の産地及び海外のものづくりと墨田区のものづくりの魅力を合わせて、物販やものづくり体験を行うことができる新たなプロモーションを実証実験する。

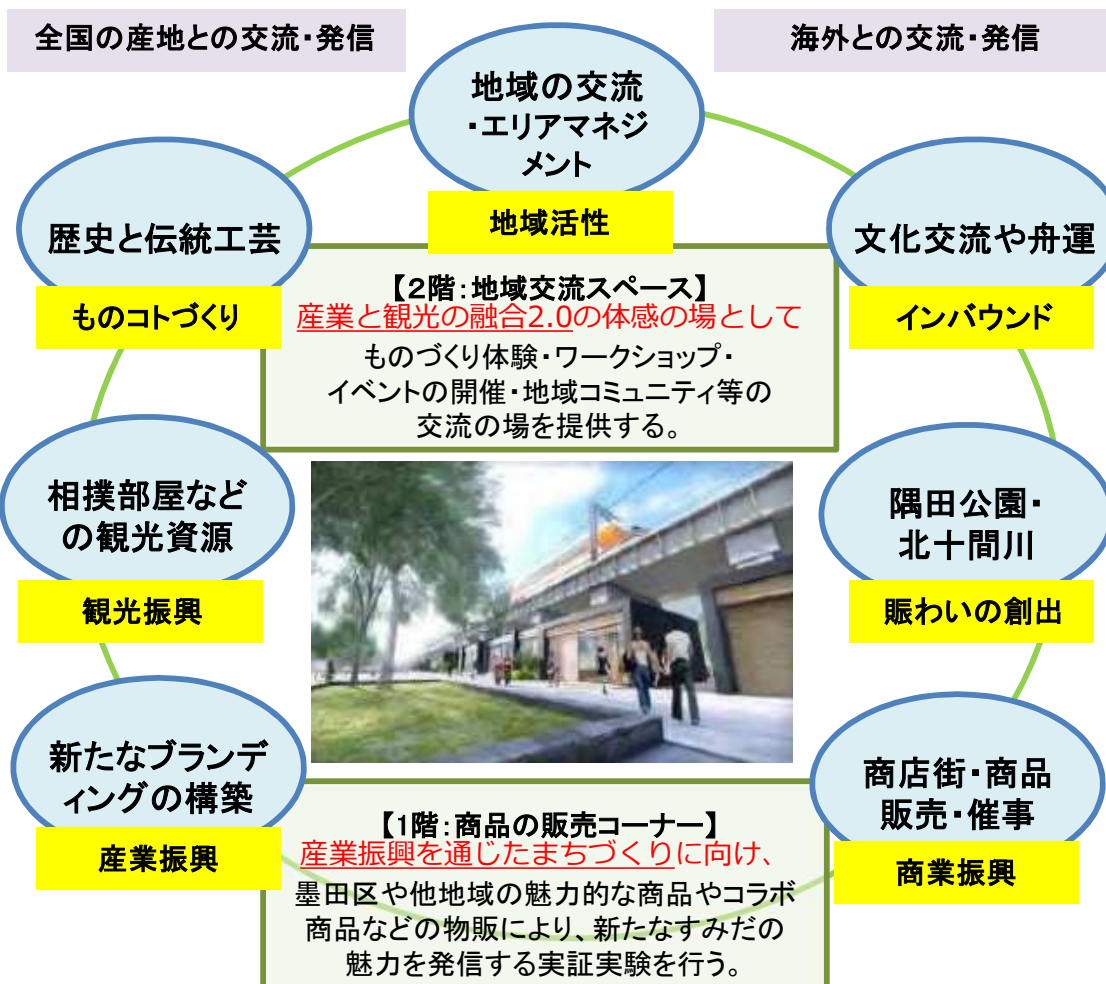
予算額(新規)

33,375千円

問合せ
産業振興課長
中山 賢治

内線5431

新たな産業支援施設の機能と連携



13 ~新たな水辺の賑わい拠点が誕生します~ 両国リバーセンタープロジェクトの推進

予算額(継続)
2,500千円

問合せ
都市整備課長
天海 晴彦 内線3911

1 目的

オリンピック・パラリンピックを契機として、両国地区において、区と東京都が保有する公有地に、民間事業者がホテルやレストランを有する複合拠点施設を整備し、その施設内に両国子育てひろばを移転する。

あわせて、舟運の活性化に資する両国船着場とスーパー堤防を一体的に整備するとともに、貫通通路や舟運利用者の待合機能等をすみだ両国リバーゲートと称し、防災機能の強化と川とまちをつなぐ新たな賑わいの拠点の創出を図る。

2 主な事業内容

令和2年度の主な取組

- ・各事業者との連絡・調整
- ・複合拠点施設の建設に係る監理費【2,500千円】



■整備イメージ

両国国技館より望む



■整備概要

【区施設】

1階 2階 両国子育てひろば

【都施設】

2階 舟運利用者待合機能 3階 水上バス事務所



東京2020オリンピック・パラリンピック に向けたおもてなし事業

予算額(継続)

11,500千円

道路公園課(1) 9,500千円

観光課(2) 2,000千円

問合せ
道路公園課長

齋藤 雄吉 内線5051

観光課長

菅原 幸弘 内線5481

1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場に近接する旧安田庭園を魅力ある観光資源として継続的に整備する。また、会場周辺では、クールシェアなどによる暑さ対策を行う予定。

さらに、大会後も、両国地域の継続的発展を促進するため、区民や事業者等が主体となって行う取組やイベントなどを積極的に支援していく。

2 主な事業内容

(1) 旧安田庭園再整備事業(継続) 【9,500千円】

- | | |
|----------------|---------|
| ①園路改修、植栽整備 | 6,500千円 |
| ②中期整備(第Ⅱ期)計画策定 | 3,000千円 |

(2) 地域DMOの推進

①両国地区DMO支援(継続)【2,000千円】

「両国地域の活性化を考えるワークショップ」での検討、成果を踏まえ地域主体の取組を支援し、両国地域の賑わいを創出し、活性化を図る。

※支援する取組は両国地域の文化観光施設、他のイベント等との相乗効果をもたらすことが期待できる取組とする予定。



■ 旧安田庭園の認知度の向上を図るための活用策



撮影スポットとしてPR
例) 結婚式用記念撮影



イベント開催
例) 納涼の夕べ



庭園管理での情景づくり
例) 法被の着用

15 ～新たなすみだの水辺へようこそ～

北十間川・隅田公園 観光回遊路整備事業

1 目的

北十間川西側区間(隅田川～東武橋)において、東京都の耐震護岸整備や東武鉄道(株)の高架下整備にあわせて、公園、道路、高架下、水辺が一体となった賑わい空間を創出することで回遊性の向上を図る。

2 整備概要

源森橋～小梅橋間のコミュニティ道路及び北側親水テラスを6月までに整備するとともに、船着場、南側親水テラス、樋門施設等の整備を、引き続き関係機関と調整しながら行う。

隅田公園については、日本庭園以北の再整備を計画するとともに、公園から地域に広がる賑わいを創出していくための運営・活用手法について、さらに検討していく。

なお、隅田川～源森橋間における各施設の完成に伴い、4月13日(月)にまちびらきの式典を開催する。

3 主な事業内容

(1)コミュニティ道路整備等 **【61,000千円】**

整備工事等(枕橋～源森橋間及び源森橋～小梅橋間)

(2)隅田公園再整備 **【22,100千円】**

隅田公園の利活用検討等

(3)小梅橋架替(家屋調査) **【5,100千円】**

(4)河川施設整備等 **【95,137千円】**

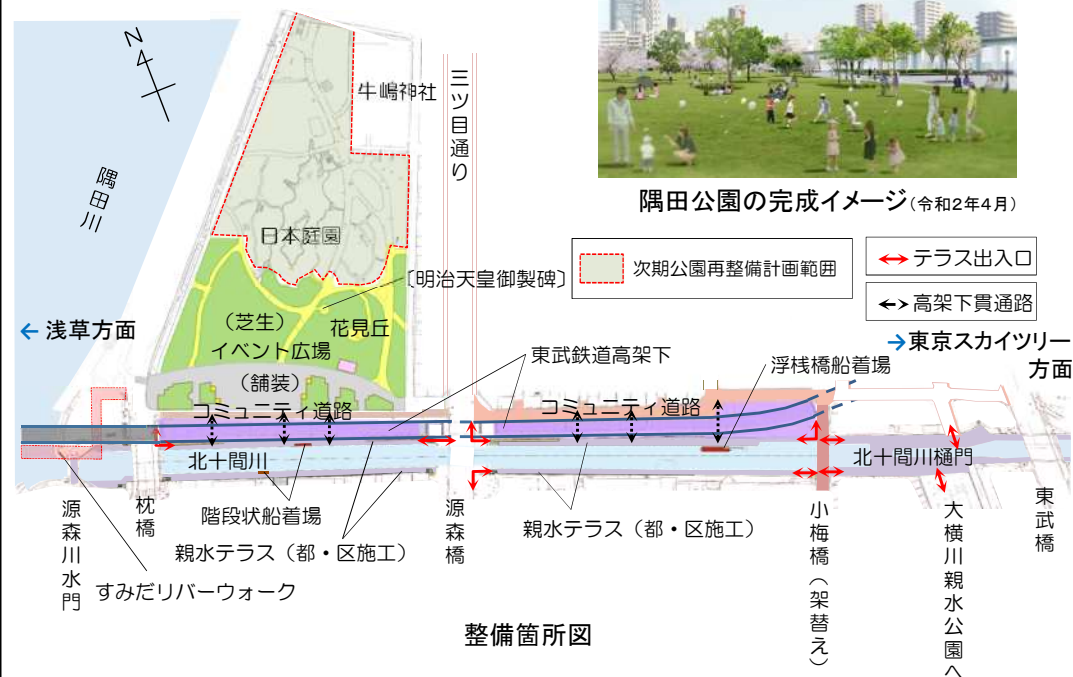
整備工事等(源森橋～小梅橋間北側等) 93,300千円

地元協議会運営補助業務等 1,837千円

予算額(継続)
都市整備課 178,237千円
(1)(2)(4)
道路公園課 5,100千円
(3)

問合せ
都市整備課長 天海 晴彦 内線3911
道路公園課長 齋藤 雄吉 内線5051
公共施設マネジメント担当課長
戸梶 大 内線3751

■ 整備概要



隅田公園の完成イメージ(令和2年4月)

■ 完成イメージ(令和2年4月)



すみだリバーウォーク



親水テラス



コミュニティ道路

向島地区インバウンドの推進

予算額(継続)

34,610千円

問合せ

観光課長

菅原 幸弘

内線5481

道路公園課長

齋藤 雄吉

内線5051

1 目的

向島地域の魅力を再発見できる、イベントやプロモーションを展開するとともに、誰もが安全快適に街歩きを楽しめる環境を整え居心地の良い観光エリアを創出する。

2 主な事業内容

(1) 向島地区DMOの推進(新規)【7,000千円】

隅田公園のリニューアルや北十間川・隅田公園観光回遊路等の新たな水辺空間の賑わいをインバウンドとして向島地域全体に広げることを目的に、向島花街等との連携によるイベント等を実施し、周辺地域一帯の賑わいを創出する。

(2) 無電柱化整備事業見番通り(墨堤通り～桜橋通り)【27,610千円】

墨田区無電柱化整備計画に基づき、見番通りの無電柱化を計画的・効率的に実施する。

無電柱化整備に合わせて、道路のバリアフリー化や景観整備を実施し、向島料亭街の趣のある景観に資する整備を行う。

- 道路予備設計及び電線共同溝予備設計 21,000千円
- 業務委託費等 6,610千円

花街イベント(イメージ)



■ 無電柱化事業箇所図



■ 現況写真



～水と緑のサードプレイス～ 水辺の賑わい創出事業

予算額(新規・継続)
11,000千円

問合せ
観光課長
菅原 幸弘

内線5481

1 目的

隅田公園のリニューアルや北十間川・隅田公園観光回遊路等の新たな水辺空間を活用し、本区の魅力を創出するイベントを実施。

2 主な事業内容

(1)水辺の賑わい創出事業(新規)【4,000千円】

新たな水辺空間を活用し、飲食・物販・音楽などのイベントを実施する地域の団体等と連携することにより、賑わいの創出と回遊性の向上を図る。

(2)(仮称)小梅橋船着場社会実験(新規)及び 台東区連携事業(継続)【7,000千円】

船着場を活用した観光舟運の社会実験を行うほか、船着場のオープニングに合わせ、台東区と連携してクルージングイベントを実施し、舟運の活性化を図る。

水辺の賑わい創出事業(イメージ)



～水と緑のサードプレイス～

水辺空間でのイベント(イメージ)



飲食

物販

音楽

(仮称)渡し舟クルージングイベント(イメージ)



開場式典

墨田⇄台東
往来

両区の観光PR

放置自転車対策の推進

予算額(新規)
9,453千円

問合せ
土木管理課長
浮田 康宏

内線5001

1 目的

放置自転車対策に民間活力を導入し、自転車利用環境の向上を図るとともに、地域の景観を保持する。

2 主な事業内容

(1) キャプチャーシステム導入(新規)【9,453千円】

専用スマホ端末(GPS機能)で放置自転車の警告・撤去・搬送の状況を撮影し、その位置情報等のデータをシステムで可視化し、自転車駐車場の設置等に活かす。

(2) シェアサイクル社会実験【0千円】

自転車の総量を減らすことを目的に、区はシェアサイクル事業者との協定締結による社会実験を開始。区の管理用地をサイクルポートとして提供し、シェアサイクル事業の区内での活用状況の変化等を検証する。

(3) みんなちゅうSHARE-LIN導入【0千円】

駅周辺の自転車駐車場不足を補うため、空きスペースを駐車場にする「みんなちゅうシェアリン」を提供する事業者と協定を締結。

キャプチャーシステム導入のイメージ

①専用スマホ端末



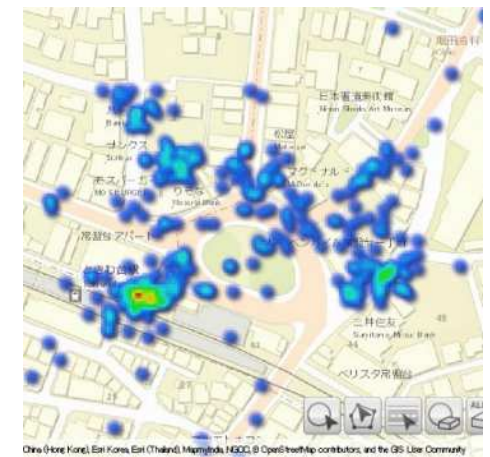
②スマホで警告・撤去自転車を記録



③警告・撤去活動の可視化



④放置状況データの可視化



19 地域みなさんと共にすみだをPR!

すみだのシティプロモーション

予算額(継続)
22,286千円

問合せ
広報広聴担当課長
若菜 進

内線3611

1 目的

地域の魅力を区内外に効果的に発信することで、区民の地域への愛着と誇りを醸成するとともに、区外からの憧れと共感を呼び起こす。

令和2年度は地域みなさんが主体となった情報発信の機会を増やすと共に、職員の広報力をよりアップさせ、区と地域が一体となった取り組みを推進していく。

2 主な内容

(1)シティプロモーション戦略の推進(プラン改定) **【3,000千円】**

(2)イメージアップ事業(継続)**【6,979千円】**

(3)シビックプライド醸成事業(継続)**【8,619千円】**

- ア すみだ子どもPR大使の育成
- イ 写真でつながる墨田区フォトコンテストの実施 など

(4)スタッフプライド涵養事業(継続)**【3,688千円】**

- ア プロモーションサポート事業
- イ 危機管理広報研修 など



いよいよ始動！ 大学のあるまちづくり

1 目的

大学を誘致することで、若者や知的人材の流れを呼び込み、地域経済の活性化や地域の賑わいを創出する。さらに、大学の持つ資源を最大限生かし、教育環境の向上や、産業の振興などに繋げていく。

2 主な事業内容

- (1) 旧すみだ中小企業センター改修工事等
【2,381,804千円】
- (2) 大学のあるまちづくり関連経費等 【3,196千円】
- ① 大学との連携事業の実施
 - ② 大学のあるまちづくり関連イベントの実施
 - ③ 公・民・学連携組織「アーバンデザインセンター（略称:UDC）」準備組織の設立

3 今後のスケジュール

令和2年4月

- (1) 情報経営イノベーション専門職大学開学
- (2) UDC準備組織立ち上げ

令和3年4月

- (1) 千葉大学デザイン・建築スクール(仮称)開設予定
- (2) (仮称)アーバンデザインセンターすみだ発足

予算額(継続)
2,385,000千円

問合せ
行政経営担当課長
事務取扱 参事
郡司 剛英 内線3711



アーバンデザインセンター準備組織設立



UDCが担う役割

課題解決

• 公・民・学それぞれが抱える問題・課題を持ち寄り、UDCが中心となり、三者協働で課題を解決する。

資源活用

• 大学の「先端の知」、企業・地域の「技術・活力」、墨田区の「公益・施策」を最大限発揮するため、UDCが橋渡し役を担う。

地域振興

• 「大学のあるまちづくり」の担い手として、イベントの実施等、地域住民や学生が身近に触れ合う機会を創出する。

いよいよ2020年！ 東京2020大会に向け 気運は最高潮に！

1目的

東京2020大会やボクシング競技の積極的なPR活動を行い、大会に向けた気運を最高潮に盛り上げる。

2主な事業内容

(1)オリンピック100日前イベント(新規)【2,284千円】

オリンピック100日前の節目に合わせて、東京2020大会パートナー企業と協力して、競技体験のイベント等を実施する。当日は、多くのアスリートも参加し、会場を盛り上げる予定。

(2)ボクシングPRイベント(新規)【2,500千円】

両国国技館で実施されるボクシングを広くPRするため、ボクシングの日(5月19日)に合わせて、競技の体験や現役選手との交流などボクシングの魅力を感じることができるイベントを実施。

また、連携協力を締結したボクシング連盟と連携して大会気運醸成やボクシングの普及・振興を図る。

(3)ボクシングキャラクター活用事業(継続)【5,335千円】

オリンピックのボクシング競技が国技館で開催されることを広く周知するため、区ゆかりの漫画「あしたのジョー」を活用し、さらなる気運の盛り上げを図る。

予算額(新規・継続)
10,119千円

問合せ
オリンピック・パラリンピック
準備室長
岐部 靖文 内線5460

オリンピック100日前イベント

地域社会との連携・共生社会の実現などを目的に、老若男女問わず、オリンピック・パラリンピアンと一緒に楽しめる運動能力向上と気運の醸成を目指す大規模な競技体験イベントを開催する。



ボクシングPRイベント「すみだボクシングフェス」

子供から大人まで楽しめて、ボクシングを「知る、見る、体験する」イベントを実施する。



ボクシングキャラクター活用事業

新たなキービジュアルを活用し、さらなる気運の盛り上げを図る。

聖火の光が「すみだ」へ

1 目的

大会に先駆けて実施される東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーの成功と盛り上げに向けて、様々な取り組みを実施する。

2 主な事業内容(新規)

(1) 聖火リレーの運営【42,800千円】

オリンピック・パラリンピック聖火リレーを安全かつ盛大に実施できるよう、聖火ランナーや運営スタッフの管理運営、沿道での自主警備、観戦者の暑さ対策などを行う。

また、走行ルート上のポイントでは、多くの区民に聖火の炎を見ていただけるようなイベント等、聖火リレーの盛り上げに寄与する取り組みを実施する。

(2) ミニセレブレーションの実施

隅田公園で、オリンピック聖火ランナーの出発を祝うミニセレブレーションを開催する。

予算額(新規)

42,800千円

問合せ

オリンピック・パラリンピック

準備室長

岐部 靖文 内線5460

【オリンピック聖火リレー】

コンセプト: 希望の道を、つなごう。

走行日: 2020年7月20日(月) 3番目

スタート: 隅田公園

ゴール: 国技館

- ・ミニセレブレーションを実施
- ・地域の学校や文化団体等の協力を得て、盛り上げ施策を実施



【パラリンピック聖火リレー】

コンセプト: あなたは、きっと、誰かの光だ。

走行日: 2020年8月22日(土) 3番目

詳細ルート: 春頃発表予定

- ・聖火ビジット(聖なる炎を区内施設で展示・見学できる演出)を検討



ドキドキは、競技会場だけじゃない 東京2020大会の競技観戦と選手の応援

予算額(新規)
46,043千円

問合せ
オリンピック・パラリンピック
準備室長
岐部 靖文 内線5460

1 目的

観戦チケットを持たない人が競技会場外で大画面による迫力ある競技の生中継や競技体験を楽しむことで、オリンピック・パラリンピック競技やスポーツへの関心を高めてもらう。

2 主な事業内容

(1) コミュニティライブサイト(新規)【42,000千円】

■実施期間

オリンピック: 7月24日～8月9日

パラリンピック: 8月25日～9月6日

■実施場所

東京スカイツリータウン®4階スカイアリーナ

(2) 本区ゆかりのアスリートの応援(新規)【4,043千円】

区を挙げて大会に出場する区民や区内事業所の所属選手を応援するため、パブリックビューイングの支援を行うとともに、選手の紹介や活動記録の展示等を行う。

コミュニティライブサイト 実施イメージ



競技中継

競技体験

ステージイベント

飲食販売

本区ゆかりのアスリートの応援



パブリックビューイング支援



出場選手の紹介

先のことだって、今からつながっている 東京2020大会後のレガシー創出

1 目的

オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした地域の活性化やスポーツ気運の維持・継続を図る。

2 主な事業内容

(1) 区独自ボランティア(すみだおもてなしサポーターズ)の運営(拡充)【2,401千円】

区主催の東京2020大会関連イベントや、聖火リレー等のボランティア活動へ支援を行う。

また大会後も、それぞれのボランティアマインドをさらに醸成し、地域活性化につなげるための取組を行う。

(2) 墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会の運営(継続)【4,882千円】

構成員である区民、区内関係団体等との連携をさらに深め、『オールすみだ』で大会を成功させるとともに、大会後も各種活動や取組をレガシーとして残し、地域力の向上を目指す。

(3) オリンピック・パラリンピック競技普及啓発事業 (新規)【220千円】

全小中学校を対象としたオリンピック・パラリンピック競技の出前授業を実施する。

予算額(新規・拡充・継続)
7,503千円

問合せ
オリンピック・パラリンピック準備室長
岐部 靖文 内線5460
スポーツ振興課長
堀 啓一 内線5490

区独自ボランティアを含めたレガシー創出



墨田区独自ボランティア



部会の活動



墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会



出前授業



地域力の活性化

ボランティアマインド醸成

ボクシングの聖地



25 ～北齋生誕260年×
東京2020オリンピック・パラリンピック～
“北齋”プロモーションの展開

予算額(新規)
9,100千円

問合せ
文化芸術振興課長
南部 友孝

内線5451

1 目的

今年は、北齋生誕260年、東京2020大会開催の記念すべき年に、生誕の地・すみだから、北齋ムーブメントの“うねり”を創出するべく、各種プロモーションを展開する。

2 主な事業内容

“北齋”プロモーションの展開(新規)

①北齋生誕260年記念シンポジウム【5,500千円】

「国際北齋学会」等、北齋の分野における有識者等による記念シンポジウムとすみだ北齋美術館学芸員による研究成果発表等を行う。併せて、北齋とつながりのある寺社仏閣等でゆかりの作品等を紹介する“北齋ミニギャラリー”を開催。

②“北齋”シティドレッシング【3,000千円】

東京2020大会の開催に合わせ、国内外から訪れる方々に“北齋のまちすみだ”を積極的にPRするため、本区所蔵の北齋作品を用いたシティドレッシングを展開。

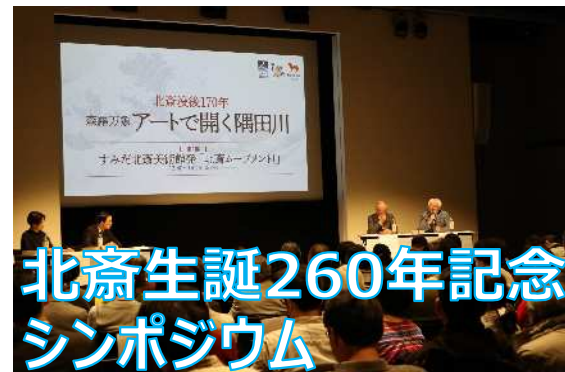
③北齋PR動画の制作・発信【600千円】

国内外に北齋とすみだをPRする動画を制作し、屋外メディアやデジタルサイネージで放映するほか、TwitterやFacebook等のSNSを活用して情報発信を行う。



× TOKYO
2020

2020年“北齋のまち すみだ”をPR



(仮称)ワールド北斎アワード

予算額(新規)

10,000千円

問合せ
観光課長
菅原 幸弘

内線5481

1 目的

世界的絵師、葛飾北斎の生誕260年を記念し、北斎や漫画など、外国人にも人気のコンテンツを盛り込んだイベントを民間団体との共催により実施し、インバウンド観光及びMICEの誘致につなげる。

※ MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

2 主な事業内容**(仮称)ワールド北斎アワード等(新規)【10,000千円】****(1) 北斎アワードの実施**

漫画家の里中満智子氏が代表を務める「(一社)マンガジャパン」が協力する実行委員会と連携し、北斎が一生貫いた視点(革新性・独創性など)からメディア芸術作品を選定し、北斎アワードとして表彰する。

(2) 関連ワークショップ、展示、企画等の実施

アワードと合わせて、浮世絵の版画体験などのワークショップや原画&オリジナル浮世絵展示、飲食店との協力による漫画やアニメに登場する料理の再現などの企画を実施する予定。

(3) 誘客イベントの実施

ポップカルチャーの先駆者とも言える北斎からのインスパイアによるアニソンライブなど、若年層やインバウンドの誘客にもつながるイベントも実施する予定。

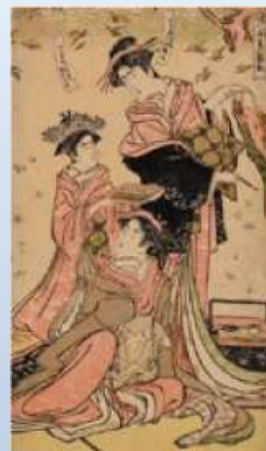
こんな

コ ラ ボ

が..

北斎×マンガ

(現代漫画家による浮世絵原画製作)



「北斎」×
「里中満智子先生」



「北斎」×
「ちばてつや先生」



27 東京2020大会の感動と「すみだの涼」
をシェアしよう！

両国クールシェアマップ

1 目的

東京2020大会を契機とし、ボクシング会場となる両国地区において、地域ぐるみによる観光客等への暑さ対策などを行い、大会後もレガシーとなる取組を進めていく。

2 主な事業内容(継続)

(1) 両国クールシェアマップ作成等【8,000千円】

クールスポットを中心とした様々な情報を一元化したマップを作成し、クールシェアを地域に根付かせる。

- ① 両国クールスポットマップ作成(紙媒体・WEB)
- ② 観光客等への周知用うちわやポスターの作成
- ③ 協力施設への掲示用ステッカーやフラッグ等の作成



マップをリーフレットやスマートフォンで入手



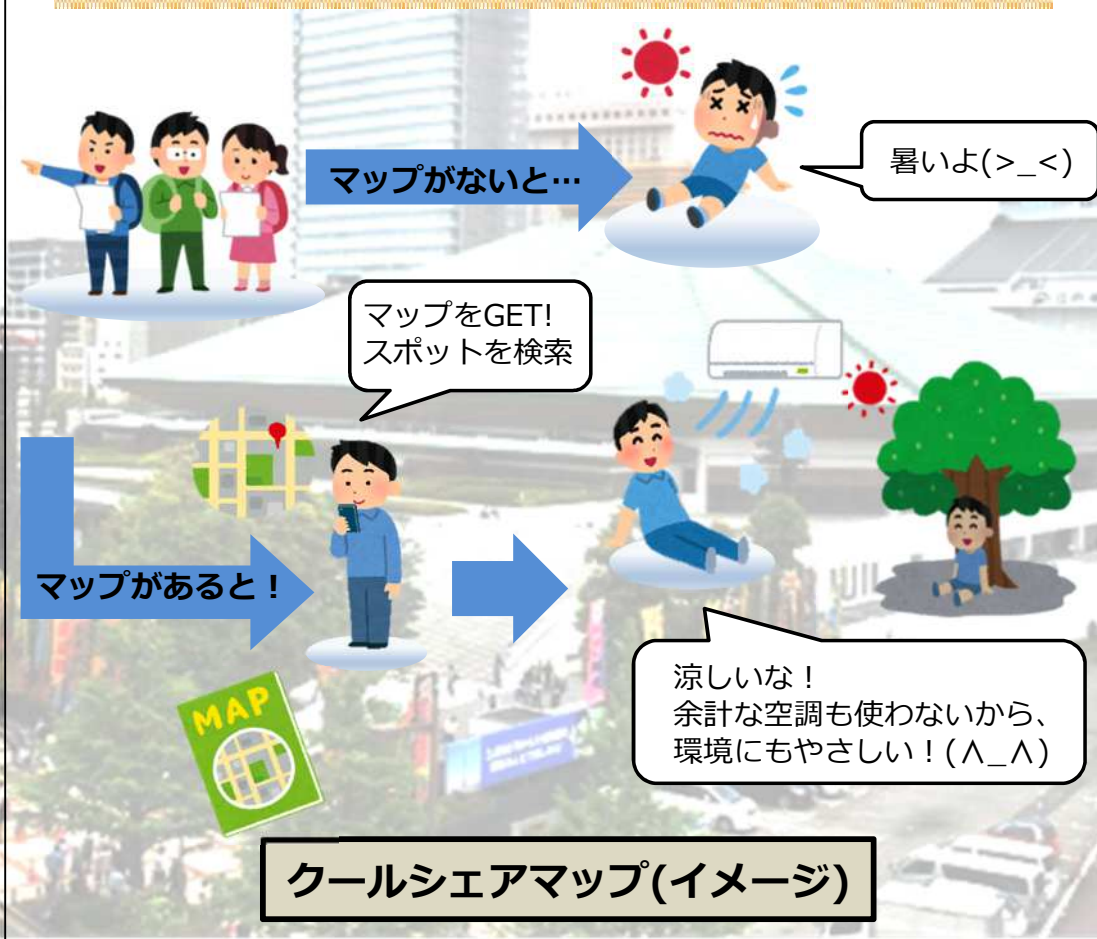
色々な場所の「涼」をシェア！熱中症を防ぎながら楽しく街を散策！

予算額(継続)
8,000千円

問合せ
環境保全課長
渡邊 久尚

内線5461

地域が主役の = 東京2020大会の 仕組みづくり レガシー



28 ボクシングとすみだの歴史的な繋がりを資料館で
「すみだのスポーツの殿堂 国技館のあゆみ」の開催

予算額(拡充)
4,986千円

問合せ
地域教育支援課長
石岡克己

内線5151

1 目的

墨田区とオリンピックとの歴史的な関係を幅広い世代が知り、関心を持ってもらうことにより、オリンピック・パラリンピックに向けた機運を高めるとともに、区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚につなげる。

2 主な事業内容

オリンピック・パラリンピック開催記念展の開催
「すみだのスポーツの殿堂 国技館のあゆみ」

(拡充)【4,986千円】

ボクシング競技の会場が国技館となることから、旧国技館をテーマにした企画展を行う。

ボクシンググローブや最古の本場所映像(相撲)など、当時のニュース映画や写真等を使って、墨田区とボクシング競技などの歴史的な関係を広く知ってもらう。



震災前の国技館 大正始めごろ

関東大震災後の国技館
1923年(大正12)



国際スタジアム時代の国
技館 1955年(昭和30)

参考資料

◆会計別総括表（昨年度との予算の比較）

◆令和2年度一般会計歳入歳出予算（案）

会 計 別 総 括 表

区 分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 △ 減 額	増 △ 減 率
	千円	千円	千円	%
一 般 会 計	124,759,000	119,515,000	5,244,000	4.4
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	26,269,000	26,862,000	△ 593,000	△ 2.2
介 護 保 険 特 別 会 計	23,856,000	22,596,000	1,260,000	5.6
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	5,957,000	5,723,000	234,000	4.1
合 計	180,841,000	174,696,000	6,145,000	3.5

(計数未整理につき変動ある見込み)

令和2年度一般会計歳入歳出予算(案)

(歳入)		(単位：千円)					
科 目		令 和 2 年 度		令 和 元 年 度		比 較 増 △ 減	
		予 算 額	構 成 比 (%)	予 算 額	構 成 比 (%)	増 △ 減 額	増△減率 (%)
1	特 別 区 税	25,457,000	20.3	24,213,000	20.3	1,244,000	5.1
2	地 方 譲 与 税	385,000	0.3	367,000	0.3	18,000	4.9
3	利 子 割 交 付 金	98,000	0.1	104,000	0.1	△ 6,000	△ 5.8
4	配 当 割 交 付 金	420,000	0.3	436,000	0.4	△ 16,000	△ 3.7
5	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	361,000	0.3	430,000	0.4	△ 69,000	△ 16.0
6	地 方 消 費 税 交 付 金	6,351,000	5.1	5,109,000	4.3	1,242,000	24.3
7	環 境 性 能 割 交 付 金	84,000	0.1	32,000	0.0	52,000	162.5
8	地 方 特 例 交 付 金	239,000	0.2	196,000	0.2	43,000	21.9
9	特 別 区 交 付 金	40,263,000	32.2	42,364,000	35.4	△ 2,101,000	△ 5.0
10	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	20,000	0.0	21,000	0.0	△ 1,000	△ 4.8
11	分 担 金 及 び 負 担 金	1,692,976	1.4	2,812,754	2.3	△ 1,119,778	△ 39.8
12	使 用 料 及 び 手 数 料	2,321,749	1.9	2,291,563	1.9	30,186	1.3
13	国 庫 支 出 金	25,395,098	20.3	23,259,071	19.5	2,136,027	9.2
14	都 支 出 金	10,310,864	8.3	9,532,831	8.0	778,033	8.2
15	財 産 収 入	226,338	0.2	172,438	0.1	53,900	31.3
16	寄 付 金	367,880	0.3	305,980	0.3	61,900	20.2
17	繰 越 金	1,500,000	1.2	1,500,000	1.2	0	0.0
18	諸 収 入	1,847,257	1.5	1,441,186	1.2	406,071	28.2
19	繰 入 金	3,572,838	2.9	2,022,177	1.7	1,550,661	76.7
20	特 別 区 債	3,846,000	3.1	2,812,000	2.3	1,034,000	36.8
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	0.0	93,000	0.1	△ 93,000	△ 100.0
合 計		124,759,000	100.0	119,515,000	100.0	5,244,000	4.4

(計数未整理につき変動ある見込み)

(歳出)								(単位：千円)	
科 目		令 和 2 年 度		令 和 元 年 度		比 較 増 △ 減			
		予 算 額	構 成 比 (%)	予 算 額	構 成 比 (%)	増 △ 減 額	増△減率 (%)		
1	議 会 費	671,521	0.5	677,283	0.6	△ 5,762	△ 0.9		
2	総 務 費	11,808,911	9.5	9,972,806	8.3	1,836,105	18.4		
3	区 民 生 活 費	6,717,039	5.4	6,905,147	5.8	△ 188,108	△ 2.7		
4	資 源 環 境 費	4,067,263	3.3	4,037,688	3.4	29,575	0.7		
5	民 生 費	68,874,942	55.1	67,917,205	56.8	957,737	1.4		
6	衛 生 費	6,232,091	5.0	4,082,892	3.4	2,149,199	52.6		
7	産 業 観 光 費	1,684,736	1.4	1,626,673	1.4	58,063	3.6		
8	土 木 費	11,773,669	9.4	11,226,466	9.4	547,203	4.9		
9	教 育 費	9,852,393	7.9	9,968,739	8.3	△ 116,346	△ 1.2		
10	諸 支 出 金	2,976,435	2.4	3,000,101	2.5	△ 23,666	△ 0.8		
11	予 備 費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0		
合 計		124,759,000	100.0	119,515,000	100.0	5,244,000	4.4		
						(計数未整理につき変動ある見込み)			